

# 2019年5月期 第2四半期 決算説明会

2019年1月16日

**株式会社 三機サービス** (証券コード:6044)

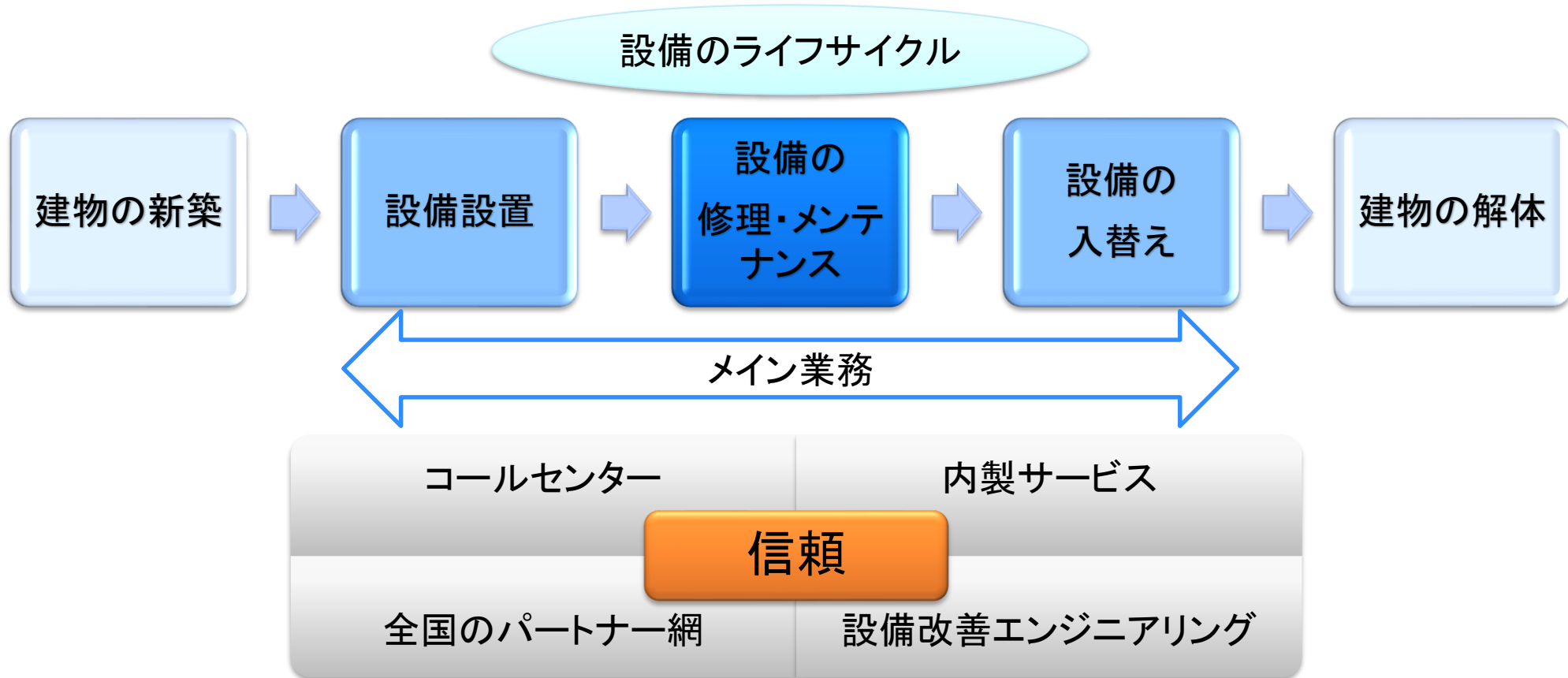
本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。

会社概要	2
当社の特徴	4
2019年5月期 第2四半期決算ハイライト	14
今後の重点ポイント・中長期成長イメージ	23
株主還元について	26

社名	株式会社三機サービス
設立	1977年7月
資本金	561,199千円
従業員数	連結 390名(2018年5月末現在)
代表者名	代表取締役社長 中島 義兼
本社	兵庫県姫路市阿保甲576番地1
主な事業内容	<p><b>トータルメンテナンス事業</b> 主に小売店・外食店等の多店舗展開企業から、 様々な設備・機器の一括メンテナンスアウトソーシングを受託する事業</p> <p><b>メーカーメンテナンス事業</b> 主にパナソニック社製の業務用空調機器のメーカーサービスを行っている事業</p> <p><b>省エネ事業</b> 当社が得意とする業務用大型空調機向けの省エネ化工事や、 LED工事などの省エネ化に関する事業</p>
企業目標	技術とノウハウを内在した、 日本一のメンテナンス会社になる

## 事業ドメイン

メンテナンスを核とした環境改善事業



社是である“信頼”をモットーに、様々な設備を保有されているお客様にかわり、課題（トラブルや改善）に真摯に向き合い対応する事での社会貢献をしていきます。

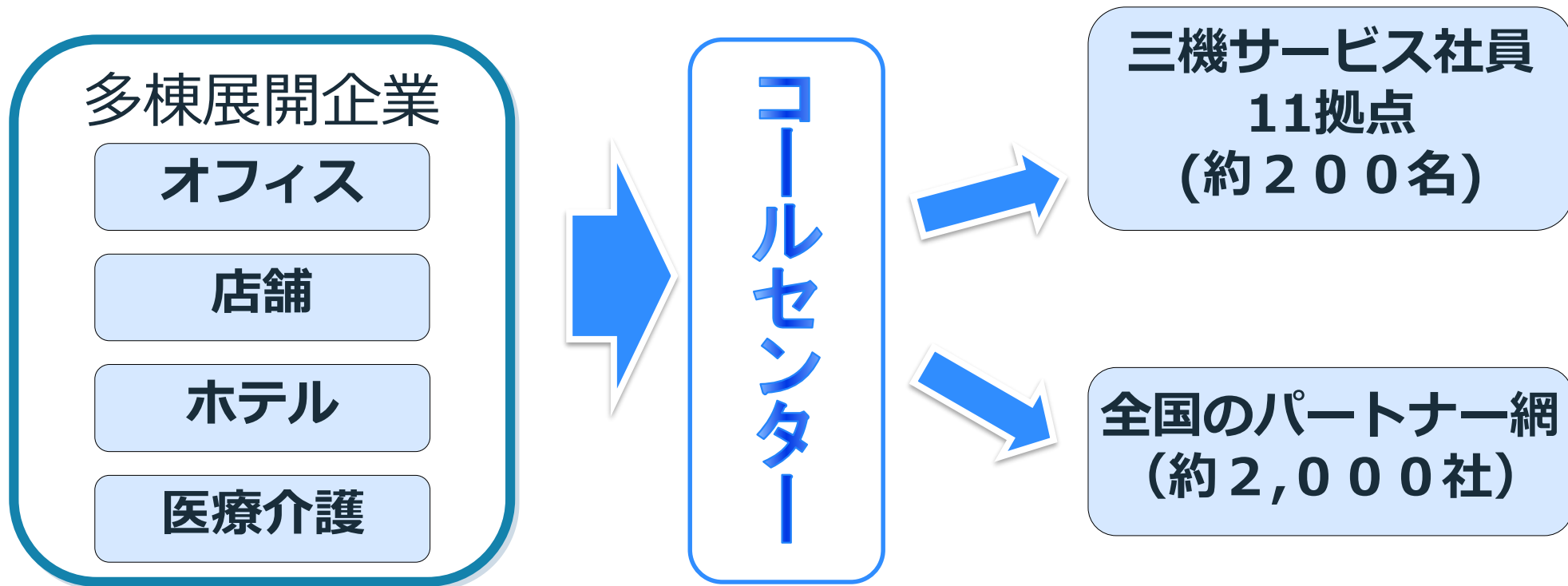
# 当社の特徴 1

全国対応可能なメンテナンス対応システムとパートナー網

# 全国の様々な修理・メンテナンスに対応

コールセンターを受付窓口とし、

受け付けたエリアや内容により手配を行う

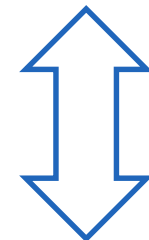
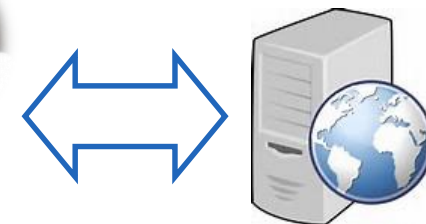


コンビニ、スーパー、  
飲食店、ドラッグストア等の  
多店舗展開企業がお客様



三機サービス  
コールセンター

WEBシステム



チェーン店  
本部様

全国店舗のあらゆる設備を三機サービスで一括管理

本部様とWEBシステムで情報共有



適切なメンテナンスコストの管理と本部様の省力化を実現

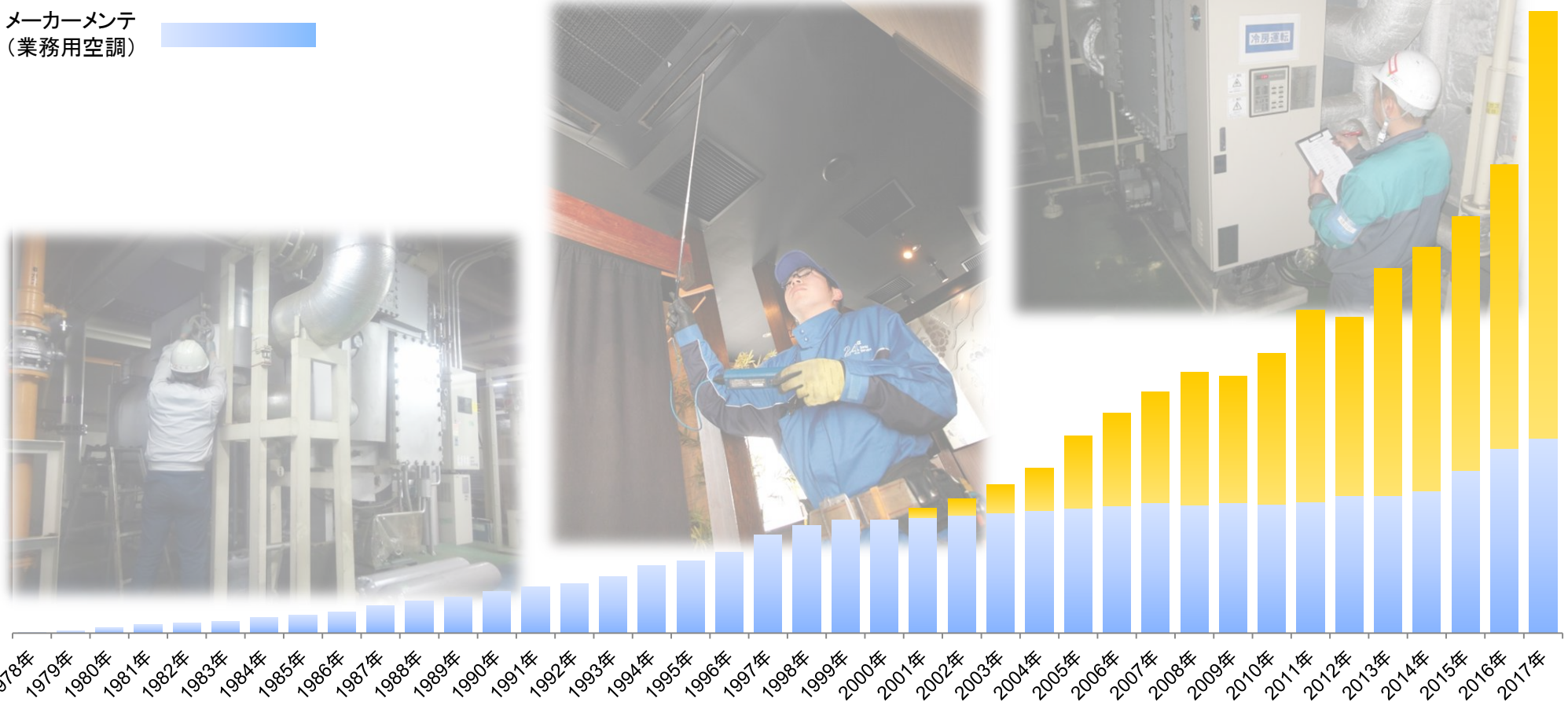
## 当社の特徴 2

40年の設備メンテナンス実績がある内製サービス



# 当社の特徴 2 40年の設備メンテナンス実績がある内製サービス

トータルメンテ   
メーカーメンテ  
(業務用空調) 



40年の業務用大型空調機のメンテナンスにより蓄積された技術とノウハウ



## パナソニック社製 大型空調機



巨大空間に設置される大型空調機の  
定期保守・修理対応等を実施

近年は省エネ化提案も活性化

### ◆ 業務用空調機

- ◆ パッケージエアコン
- ◆ GHPエアコン
- ◆ ナチュラルチラー
- ◆ モジュールチラー

### ◆ 業務用厨房機器

- ◆ フライヤー
- ◆ ガスレンジ
- ◆ 電子レンジ
- ◆ グリラー

### ◆ 業務用冷蔵・冷凍庫

### ◆ 給排気設備

### ◆ 給水設備

### ◆ 照明設備

### ◆ 電気設備

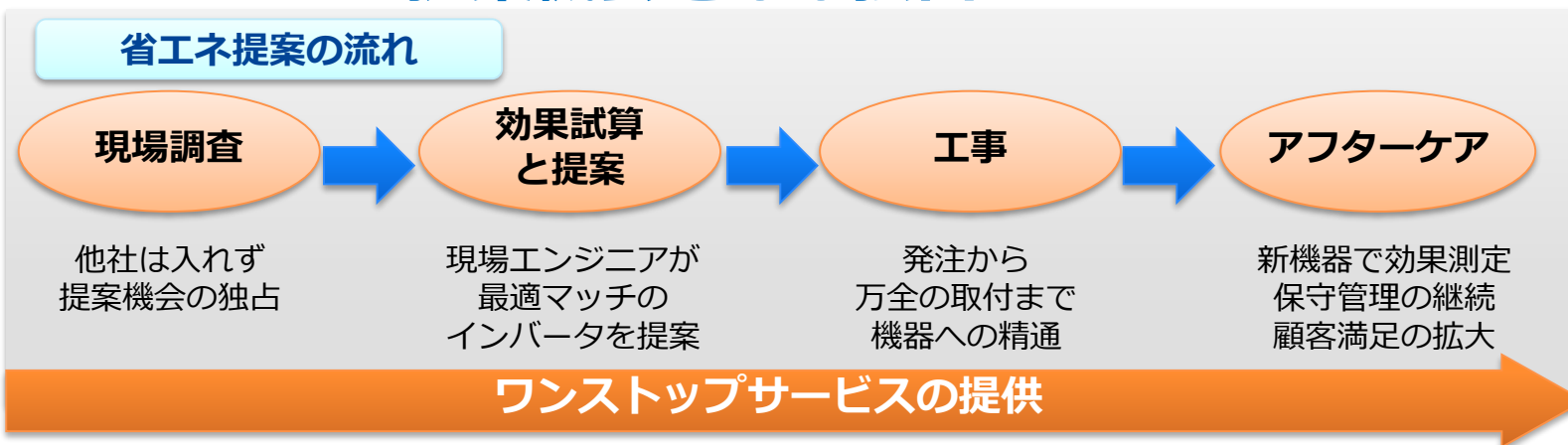
等々

これからも内製サービスの拡充に取り組む

## 当社の特徴 3

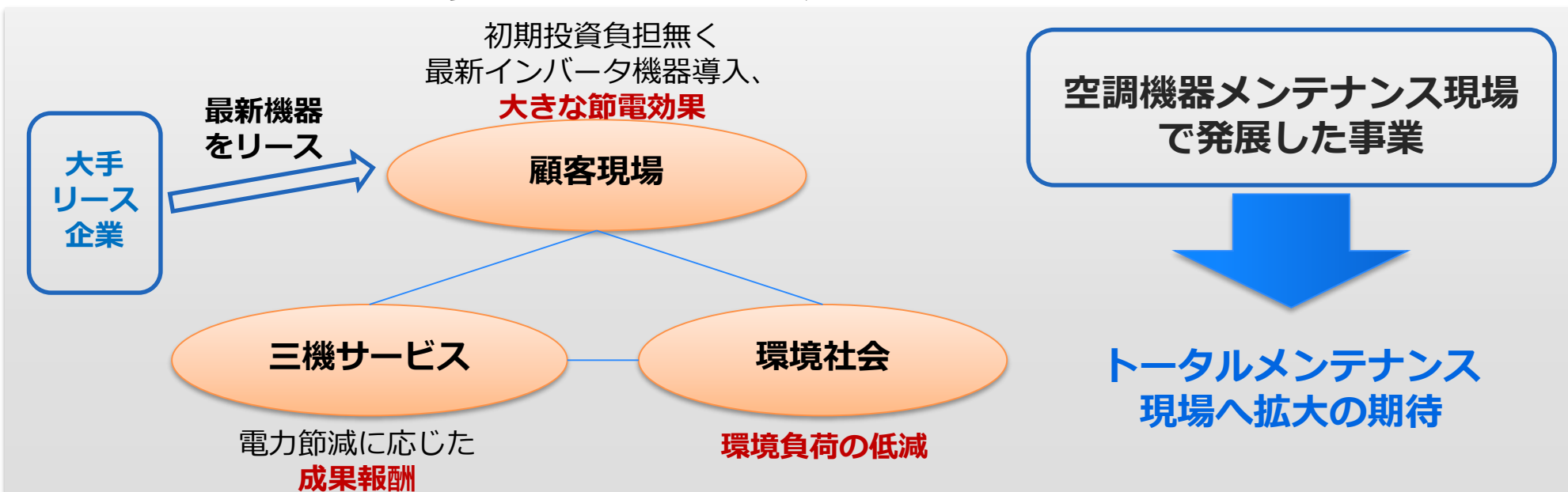
メンテナンス実績に裏打ちされた  
信頼性のある設備改善・省エネ提案

## 機器管理現場で、提案機会をほぼ独占



インバータ制御導入

## 大手リースとの提携により、初期投資負担なく最新インバータ機器導入



- 空調設備ポンプのインバータ化
- 空調・熱源機器更新
- 個別空調機のリモート制御
- 電力量のピークカット（BEMS：デマンドコントロール）
- 空調室外機のドレン水冷却システム
- 照明LED化対応

# 2019年5月期第2四半期ハイライト

売上高

5,931百万円

前年同期比  
112.4%



営業利益

393百万円

前年同期比  
103.0%



四半期純利益

273百万円

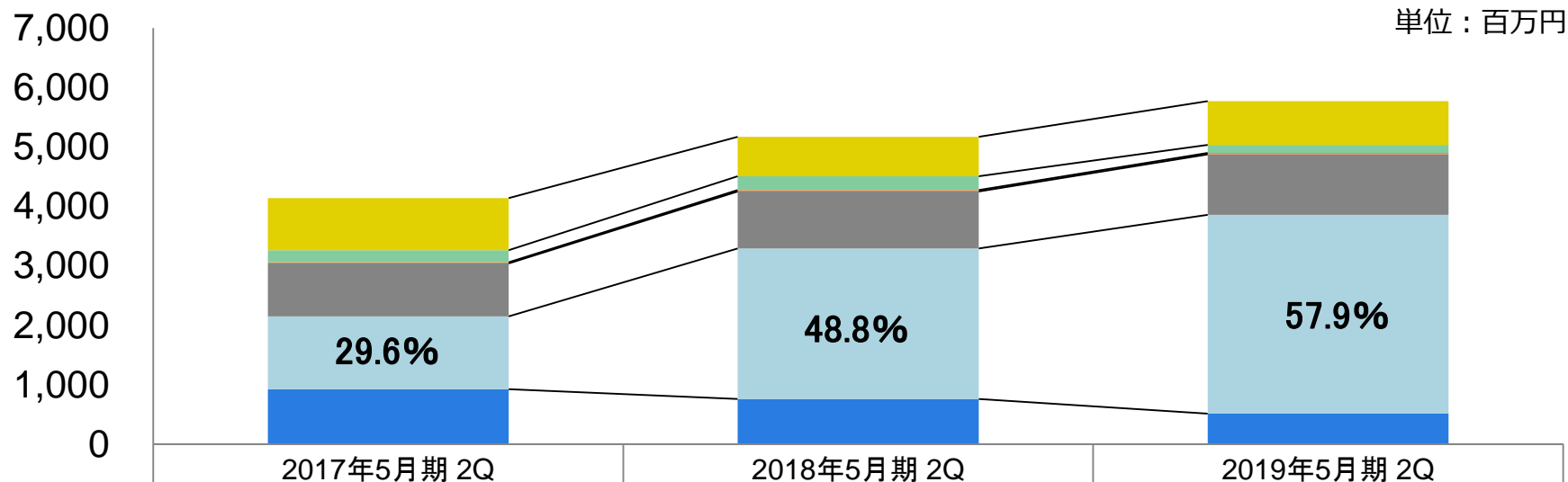
前年同期比  
104.2%



売上高・営業利益・四半期純利益  
すべて過去最高を更新



前年に続き既存小売業向けの取引が拡大し売上高全体の6割に成長  
小売業向けの取引拡大は引き続き見込む。他のマーケットの拡大にも着手。

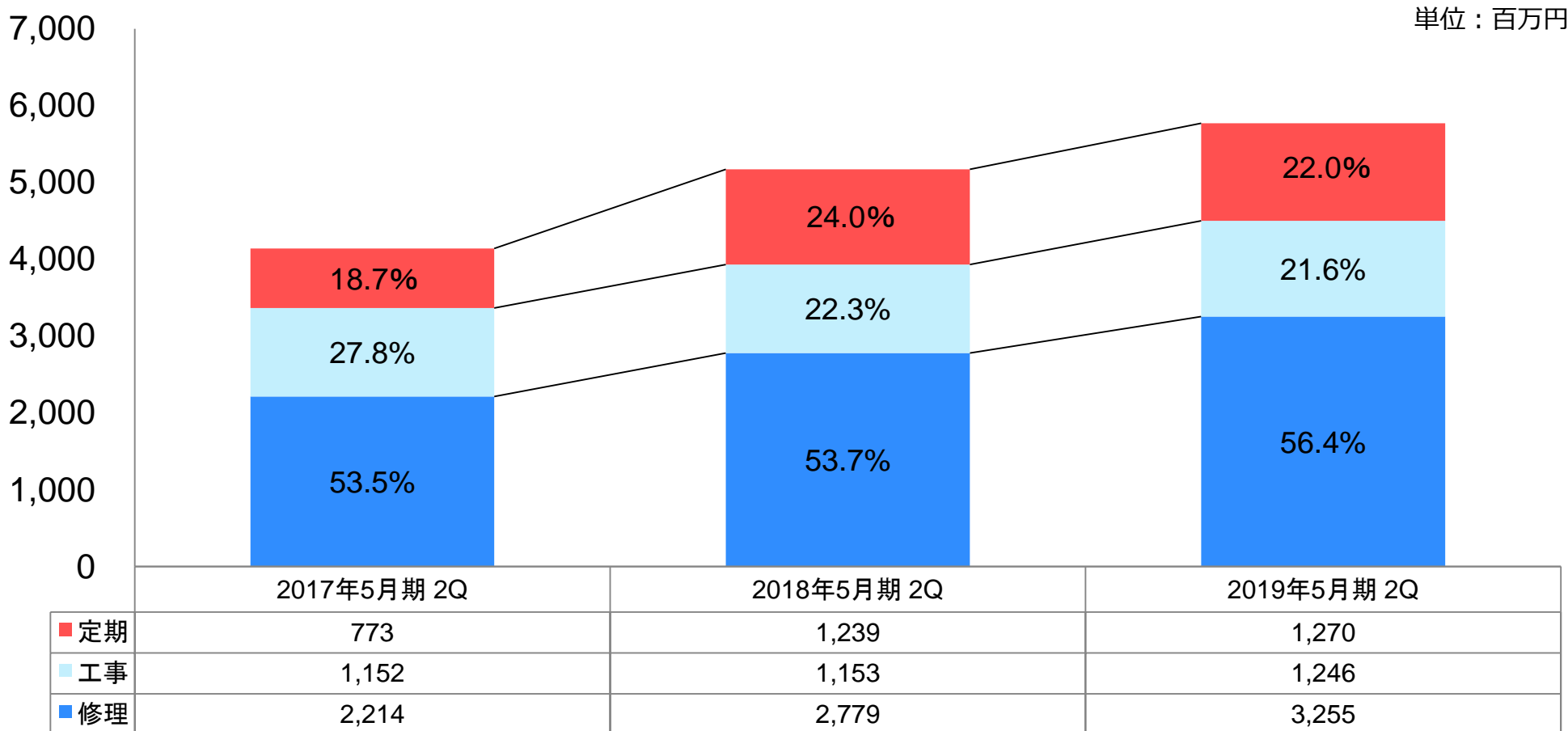


	2017年5月期 2Q	2018年5月期 2Q	2019年5月期 2Q
■ 06.その他	876	662	735
■ 05.医療・介護・福祉	202	235	138
■ 04.イベント施設	24	25	25
■ 03.設備管理・不動産	888	959	1,014
■ 02.小売業	1,224	2,528	3,344
■ 01.飲食	926	762	515
合計	4,140	5,171	5,771

※ 数値は単体数値をベースに出してあります。

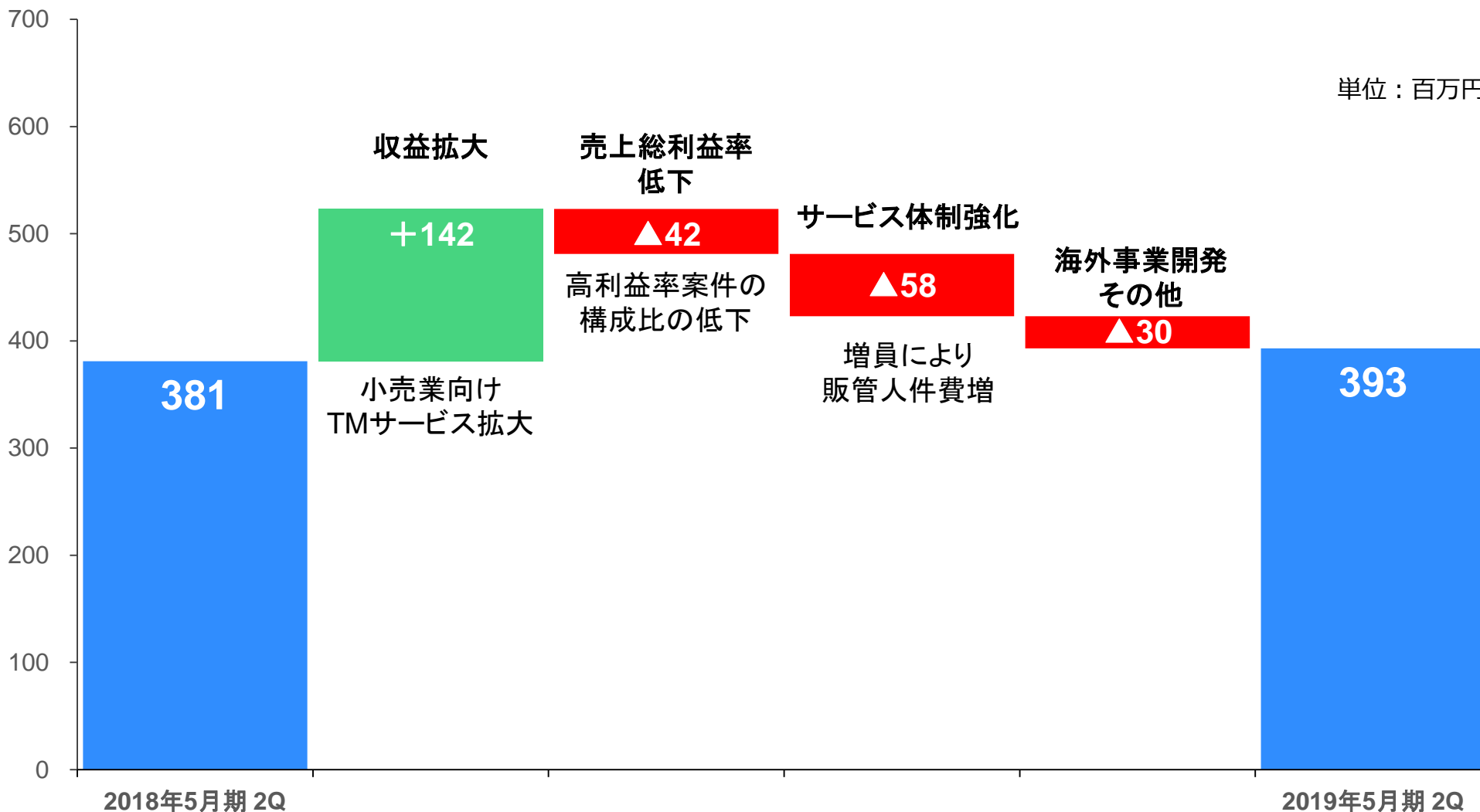
上期において修理の構成割合が増えたことや、利益率の高い省エネ工事案件が少なかった事により、売上高は拡大するも利益率が若干低下

売上総利益率(21.9% → 21.2%) 営業利益率(7.2% → 6.6%) となる

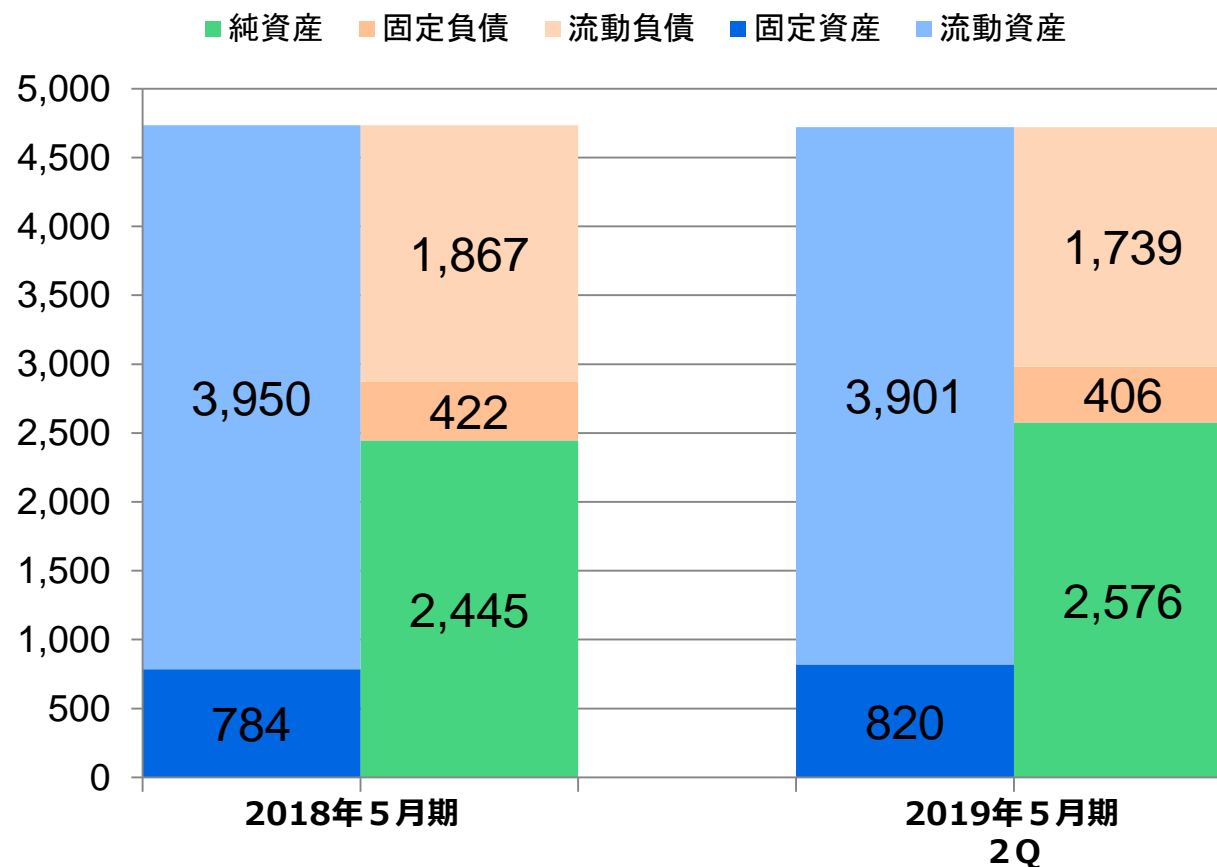


※ 数値は単体数値をベースに出してあります。

中長期的な成長を見越した体制強化を実施した事により販管人件費が増加  
 海外事業開発の為のコストも増加



単位：百万円



## 主な増減要因

単位：百万円

### (資産)

- △574 現金及び預金
- +464 売掛債権
- + 26 原材料
- + 21 ソフトウェア仮勘定

### (負債)

- △ 89 未払法人税、消費税
- △ 55 長期借入金 等

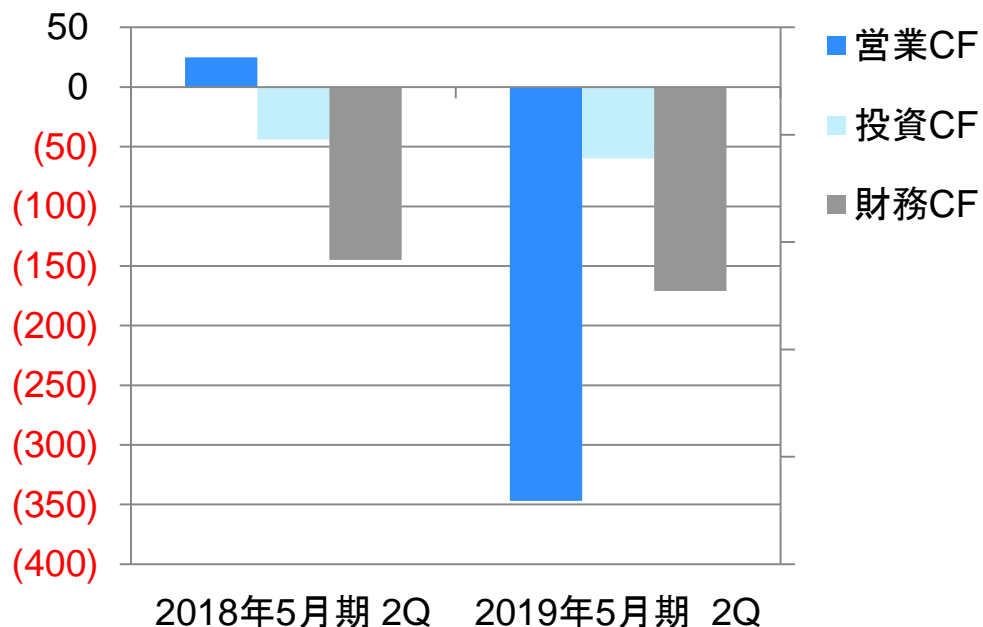
### (純資産)

- + 21 新株発行
- +273 当期純利益
- △162 配当金の支払い

## 自己資本比率

**51.6% → 54.5%**

長期借入金の返済等により、自己資本比率は若干増加



## 前年との変化の主要要因

### 営業活動CF

- △260 債権債務の増減
- △112 法人税等の支払等

### 投資活動CF

- △ 23 無形固定資産の支出(新ITシステム)

### 財務活動CF

- + 12 新株予約権の行使
- △ 51 配当金支払額の増加

単位：百万円

	2018年 5月期 2Q	2019年 5月期 2Q	増減
営業活動CF	25	△347	△373
投資活動CF	△44	△60	△16
財務活動CF	△145	△171	△26
期末残高	651	781	129

# 2019年5月期 通期業績予測

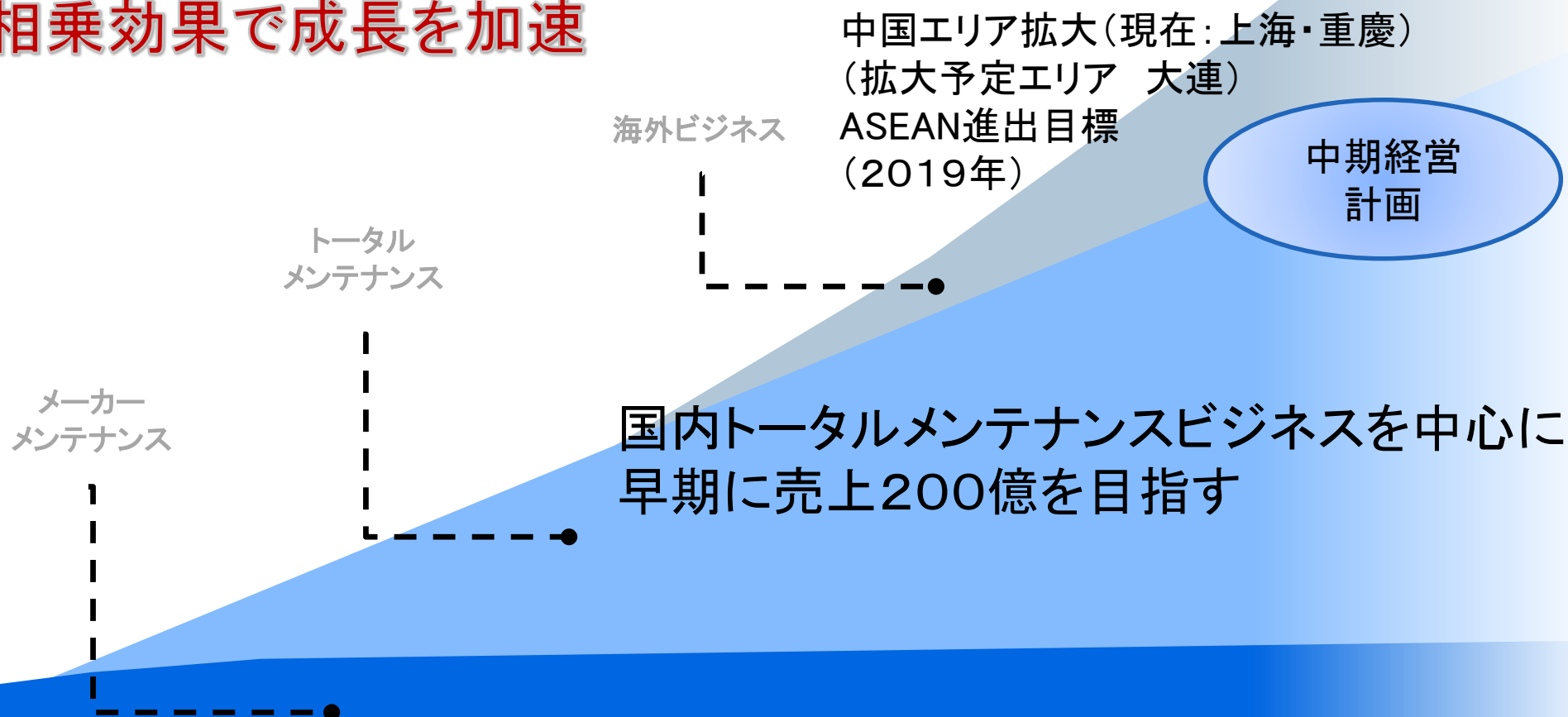
通期は変更なし

	2018年5月期 実績		2019年5月期 計画		2019年5月期 2Q	対前期	
	(百万円)	利益率・配当性 向(%)	(百万円)	利益率・配当性 向(%)	(百万円)	増減(百万円)	増減率(%)
売上高	11,148	-	<b>12,500</b>	-	<b>5,931</b>	1,351	+12.1
営業利益	777	7.0	<b>875</b>	<b>7.0</b>	<b>393</b>	97	+12.6
経常利益	776	7.0	<b>869</b>	<b>7.0</b>	<b>397</b>	92	+12.0
当期純利益	527	4.7	<b>580</b>	<b>4.6</b>	<b>273</b>	52	+10.0
一株当たり 当期純利益	(円) 93.76	-	(円) <b>100.19</b>	-	-	(円) 6.43	-
期末 配当予想	(円) 28.0	(%) 29.9	(円) <b>30.0</b>	(%) <b>29.9</b>	-	(円) 2.0	-

# 経営課題・中長期成長イメージ



## 安定的な高利益率ビジネスと、 成長性の高いビジネスの、 相乗効果で成長を加速



# 株主還元について

## 配当政策

- 経営成績及び財務状態を勘案したうえで、**配当性向30%**を目途に利益還元
- 2019年5月期は**30円(2円増配)**を予定
- 内部留保については、企業体質の強化及び将来の事業展開のための財源として利用（海外進出、研修設備強化、ITシステム強化、M&A 等）

## 株主優待制度

長期的に当社の株式を保有して頂く株主様の増加を目的として、  
保有株式数 1単元(100株)以上に対し、1,000円分のクオカードを配布

技術とノウハウを内在した  
日本一のメンテナンス会社を目指します

# 株式会社 三機サービス

ご清聴いただき、ありがとうございました